

PCSA アクションレポート（コスト問題研究部会）

令和 1 年 7 月版

第 164 回コスト問題研究部会

- 開催日時 平成 31 年 7 月 4 日（木） 午後 2 時～午後 5 時
 開催場所 TKP 上野駅前ビジネスセンター
 出席人数 担当理事 1 名、部員 7 名、賛助部員 6 名、正会員オブザーバー 1 名、合計 15 名
 出席者
- ＜担当理事＞
 福井 宏彰 株式会社加賀屋 代表取締役社長
- ＜リーダー＞
 佐藤 千恵 株式会社セントラル伸光 営業部 課長
- ＜サブリーダー＞
 宮村 伸輔 株式会社エルゴジャパン 常務取締役
- ＜部員＞
 上田 芳己 株式会社日本ヒュウマップ 景品事業担当部長（新規事業）
 （株式会社ダイナムジャパンホールディングス）
 呉 允博 株式会社日本ヒュウマップ 景品事業担当（新規事業）
 （株式会社ダイナムジャパンホールディングス）
 佐々木晃司 株式会社ニラク 店舗開発部 部長
 荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社 顧問
 新井 弘光 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 企画開発部 係長
 原田 明光 株式会社三永 顧問・コスト管理担当
- ＜賛助部員＞
 園田 悦志 株式会社大商 関東統括支店 支店長
 小林 不二雄 株式会社ユーギシステム 専務取締役
 堀金 泰陽 グローリーナスカ株式会社 営業推進部 情報分析グループ サブマネージャー
 伊藤 真祐 株式会社 DMM.com 第一営業本部 アミューズメント 事業部 渉外統括補佐
 青木 勇二 株式会社山宝商会 プロジェクト事業部部長
- ＜正会員オブザーバー＞
 藤橋 高弘 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 第一営業部 主任

1) 日遊協 受動喫煙防止対策、ベンチマーク制度セミナー 報告

令和 1 年 6 月 25 日、日遊協は「受動喫煙防止対策・ベンチマーク制度セミナー」を開催。ホール 5 団体の関係者など 161 名が参加した。

＜概要＞

第 1 部 受動喫煙防止対策

① 改正健康増進方について ② 分煙環境マニュアルの説明

講師：日本たばこ産業株式会社 永沼 舞華様

日遊協発行の「パチンコホール分煙環境整備マニュアル」をもとにホールの分煙環境に必要な条件、様々な分煙事例を紹介。施工から届け出に至るまでの手順を解説した。

第2部 風営法 構造設備の変更取り扱いについて

講師：株式会社のぞみ総研 日野 孝次郎様

警察庁が今年3月に通知した「改正健康増進法の施行に伴う喫煙専用室等の設置に係る構造及び設備の変更の取扱いについて」を解説。承認が必要な3つのケースとして①大規模の修繕、模様替えに該当する変更②客室の位置、数または床面積の変更③壁、ふすまその他営業所の内部を仕切るための設備の変更を挙げ、客室の範囲や客室内の見通しを妨げない設備など注意したい点について説明した。

第3部 ベンチマーク制度

① パチンコホール業へのベンチマーク制度の導入、補助金について

講師：株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ 佐藤 良様

省エネ法におけるベンチマーク制度を解説。ホールが対象となるケースとベンチマークの計算方法を紹介した。また、ホールが活用できる補助金は約3,000種類、助成金は約70種類あり、補助金を受けるためには、どのような事業展開をするか、設備投資をするのかを逆算することが重要と述べた。

<意見>

- ・バックヤードでの喫煙が可能な場合、臭いを無くすための設備も必要ではないか。
- ・喫煙ブースの変更承認届、変更申請は所轄ごとに対応が異なるので、確認が必須。
- ・設置後に消防から設置に関して指示が出た事例がある。消防にも確認すべき。
- ・消防から喫煙ブースに、スプリンクラーを付けるように指示された事例がある。
- ・各都道府県条例によっては、外部排気が非常に難しい場合がある。
- ・業界誌からホールの売上の8割を喫煙者が上げているというデータが出ている。
- ・どこの地域の消防、警察が厳しいという情報を法律問題研究部会にまとめて頂きたい。
- ・既に喫煙ブース、喫煙室が設置済み店舗に確認する事で、その場所の情報を集める事は可能。
- ・喫煙ブース、喫煙室を設置済みの店舗に、所轄、消防などの諸注意屋指示などをアンケートする。

2) レジ袋について

環境省から、海洋汚染対策の一端としてスーパーマーケット業界などに、今後レジ袋を有償で提供するように法制化していくという方針が示された。パチンコ業界はその対象業界となっていないものの、今後の世論の高まり次第では、ビニール袋有償化の可能性もあるとして、紙袋等の代替の袋のコストを検討した。

ビニール袋から同サイズの紙袋に変更した場合のコストは、約5倍と非常に高い現状を確認した。一方、各社のビニール袋のコストを意図せずに比較する事となり、ビニール袋使用の現状肯定ではあるもののコスト削減に役立つ情報を共有した。なお、ビニール袋から紙袋への変更は、各社判断だが、今後も折を見て継続的にビニール袋の代替品の情報を共有するものとした。

また、袋の有償化が現実化した場合、景品交換の際に袋をどう渡すか（玉メダルと交換？ セット景品？）なども議論された。

3) 6月 拡大コスト問題研究部会 in 愛知 振り返り

<スケジュール概要>

令和元年5月30日(木) 1日目 企業訪問 in 愛知

PM2:15 夢コーポレーション株式会社様 本社訪問・見学

PM2:30 ご挨拶 加藤 英則 様 夢コーポレーション株式会社 代表取締役社長

PM3:00 拡大コスト問題研究部会 in 愛知

第一部 「夢コーポレーション株式会社 省エネ活動報告」(50分)

説明:常磐 賢二 様 夢コーポレーション株式会社 資産開発部 部長

第二部 拡大コスト問題研究部会 in 愛知 (50分)

・コスト問題研究部会・喫煙ブースプレゼンテーション 2019-振り返り

・コスト削減事例 共有

令和元年5月31日(金) 2日目 ストアコンパリゾン in 愛知

AM10:00 ストアコンパリゾン in 愛知 JR 豊橋駅 新幹線改札口 (改札外) 集合

AM10:15 1. オーギヤ WO 様 (15分※見学のみ)

AM10:40 2. タイキ豊橋藤沢店 様 (15分※見学のみ)

AM11:00 3. ゼント豊橋藤沢店 様 (50分※15分見学、30分質疑応答)

PM12:00 解散 豊橋駅

<意見>

「夢コーポレーション株式会社 省エネ活動報告」について

- ・常磐賢二部長のおっしゃっていた「全員野球」というキーワードに強く共感した。
- ・32店舗あれば、3世代の新旧店舗が混在しているために、32通りのやり方があり、その中で、各店舗にあった現実的な対応をされている事に感銘を受けた。また、すべてを数値化して評価をしている事に感心した。

「ゼント豊橋藤沢店様 ストアコンパリゾン」について ※見学、質疑応答あり

- ・景品交換無人カウンターについて、使用率やコスト削減について非常に勉強になった。
- ・導入したと伺っていたお掃除ロボットに関して、機能や清掃率など詳しいお話を聞きたかった。
- ・見学させて頂いた景品自動交換機（ガラス張りの自動販売機で、カード関連の機器が横に設置されている。）はメーカーの基板でカスタマイズが必要で結構な費用が掛かると伺った。
- ・紙幣搬送設備で紙幣が別階にまとめて送られるのが非常に良いと感じた。また、現物を見てみたかったという本社社員がおり、注目度の高さを感じた。

4) 部員近況報告 (コスト削減関連)

- ・琵琶湖近傍の店舗で玉通路の樋清掃を実施したが、ひと月遅れの為に湿気で詰まってしまった。冷房を非常に強くかけて湿気を飛ばしたが、その分のコストが上乘せされた。
- ・喫煙ブースの使用頻度を見ていると使う人が非常に少なく本当に必要なのか疑問に思う。
- ・およそ8年前に完全分煙の店舗を展開したがやはり稼働が若干落ちる。最大でおよそ40店舗程まで増やしたが現在は約30店舗まで減っている。
- ・今年8月の9連休は、5月の10連休と同様に物流配送が困難になると考えており、店舗には景品などの発注を早めにと指示している。
- ・PB飲料はNB飲料よりも「利益を上げやすい」という点を店舗に理解してもらいたい。
- ・PB飲料を他社ホールに出す際、問題になるのは配送のコスト。
- ・消費税や喫煙ブースなどをなるべく前倒しで進行させている。
- ・前回、建物設備の修繕を火災保険で賄える、という話をしたが、最近、実際に活用した事例が2例ある。
- ・紙タバコ、電子タバコの次に来るかと、かぎたばこ（スヌース）を旗艦店に導入した。これは、上唇と歯茎の

間にタバコの葉などを入れたティーバックのようなものをいれて味わう。

- ・喫煙ブースに関して、関西では理解が浅いと感じている。
- ・喫煙スペース（ブース）は、どのくらいのサイズが妥当なのか考えている。

5) 次回開催

開催日：令和1年8月1日（木）

時間：午後1時～午後5時

開催場所：TKP 上野駅前ビジネスセンター 7A（7階）

以上